

令和5年度版（参考資料）

分野配属に関する注意事項

（2014年3月改訂）

- 1、3年次前期の野外調査演習の単位が習得できないものは、3年次の夏期フィールドセミナーを履修できない。
- 2、3年次末までに夏期フィールドセミナー、および卒業に必要な科目10単位以上を未習得のものは課題研究のための分野配属を認めない。必要条件を充たした時点で改めて分野を決定する。
- 3、4年次における課題研究の分野の決定に関しては別紙参照。

4年次学生の分野配属に関して（令和2年12月教員会議）

- (1) 配属される3年生の人数が20名以下の場合は1分野（または1研究室）4名を上限とする。人数が21名以上の場合、1分野（または1研究室）5名を上限とする。
- (2) 学生配属に関する「分野」（または研究室）の定義は教員会議で定めたものにする。教員の異動退職などによって、学生配属に関する「分野」（または研究室）の定義が一時的に変わることがある。
- (3) 教員の異動退職を控えて卒業論文の指導が困難と判断された場合などは、教員会議の承認のもとに受け入れ可能な学生数上限を2名程度とする分野（または研究室）もありうる。
- (4) 分野配属の希望調査と内定は2月上旬に行う。（3）の事態が生じた場合は、希望調査前に学生側に連絡する。
- (5) 分野配属希望数が上限数を上回った場合は、基本的に学生間で調整する。調整がうまくいかず、（1）の例外が認められない場合は、成績などの客観的資料をもとにして、教員会議の責任において第二あるいは第三志望分野に配属となる場合がある。
- (6) 志望表提出前に配属希望分野の教員の承諾を得ること。

調書の参考例。実際は google form で web 提出とする

分野配属希望調書

学籍番号 BOSB5000

氏名 分野 望

第一志望分野 ××分野

第二志望分野 〇〇分野

第三志望分野 □□分野

希望提出前に配属希望分野の教員と必ず面談すること。面談していない場合は配属を認めない場合がある。

====アンケート（必ず記入して下さい）====

- (1) 参加した体験講座会や通常の講座会（分野名、回数。分かる範囲で）

- (2) 卒論、修論、博論の最終発表会への出席状況（自己評価）および印象に残った発表

- (3) 卒業後の進路（現時点での希望でよい。いずれかを選ぶ）

 大学院に進学(東北大学) **大学院に進学(他大学)** 就職
まだ決めかねている

提出受付は **2月6日(9時)開始、締め切りは2月9日(15時)**です。

提出先：雑誌会の Google Class Room(セミナー2)で提出 **!!!時間厳守!!!**

令和5年度地球惑星物質科学講座の分野

- (1) 鉱物学分野(栗林・長瀬各准教授)
- (2) 資源・環境地球化学分野(掛川教授・古川准教授)
- (3) 初期太陽系進化学分野(中村智樹教授・中嶋講師)
- (4) 量子ビーム地球科学分野(鈴木准教授)
- (5) 火山学・地質流体研究分野(中村美千彦教授・奥村准教授)
- (6) 地殻化学分野(辻森教授・平野准教授)
- (7) グローバル結晶科学分野(大藤教授)